

(解答例)

1. 森林の間接的利用価値について簡潔に説明せよ

間接的利用価値とは、消費以外の形での利用によって得られる価値をさす。森林の場合は、森林浴などの形で提供されるアメニティ機能や、雨が降ったときにそれが直接川などに流れ込まず森林にバッファされる保水機能、張り巡らされた根によって土壌流出を防ぐ国土保全機能などが含まれる。

2. リスクトレードオフについて例を挙げて説明せよ

リスクトレードオフとは、一つのリスクを減らす対策をするとそれと引き換えに別のリスクが増えることをいう。例えば、南アジアで糞便などによって細菌や寄生虫に汚染された表層水を飲料水にしているために乳幼児が下痢で死亡するリスクを減らすため、深井戸を掘って飲料水にした対策の帰結として、確かに下痢のリスクは減ったが、地下水の流れが変わって深井戸の水の砒素濃度が上昇したケースがあって、住民が砒素中毒になるリスクが上昇したことは、典型的なリスクトレードオフである。

3. 仮想評価法(Contingent Valuation Method = CVM)の利点は何か？

質の異なる評価軸をすべて金銭に換算して評価できることによって総合評価が可能になる点。

例えば DDT 散布で蚊やシラミを減らすことによって感染症罹患者が減ったという利点と長期間分解されずに環境中に残存することから起こる生態毒性という悪影響は評価軸が異なるため比較できないが、感染症罹患者が減ることをプラスいくらと評価し、生態毒性が現れることをマイナスいくらと評価するかと関係者が評価する金銭に換算すれば、総体としてプラスなのかマイナスなのかを判定できる（それを答えとして政策実行して良いのかどうかは、また別の話であり、注意が必要だが）。